

令和7年度 全国学力・学習状況調査結果のお知らせ

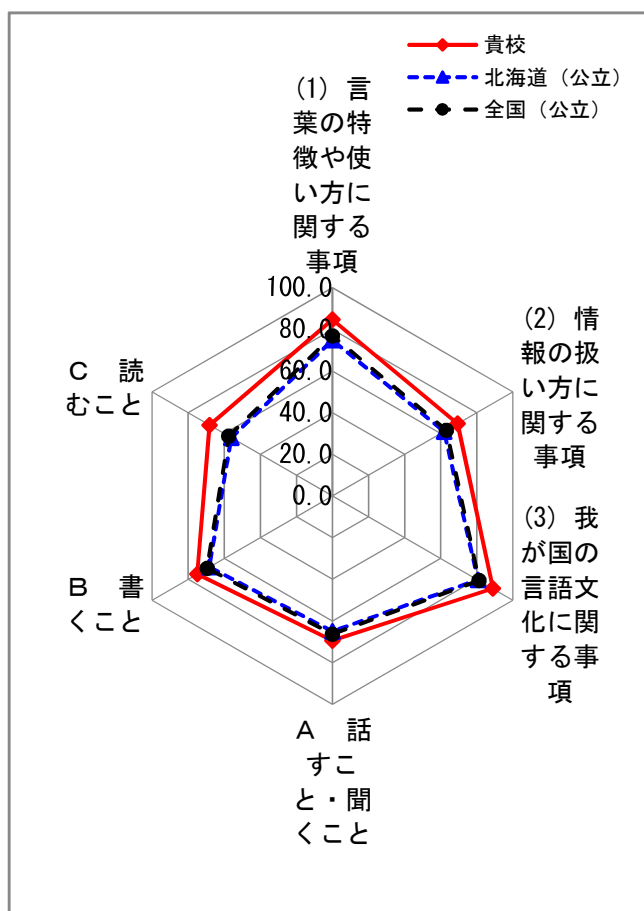
江別市立大麻泉小学校

4月17日に実施した令和7年度全国学力・学習状況調査について、本校の概況をお知らせします。学校では、結果からわかる成果と課題に基づき、今後もすべての教科における「主体的・対話的で深い学び」の実現を図る授業改善や、家庭・地域との連携に基づく望ましい学習習慣、生活習慣の確立を大切にしていきます。

1. 各教科の調査結果から

(1) 国語の結果

平均正答率は全国平均を上回っています。



学習指導要領の内容に照らすと、グラフ項目の(1)～(3)は「知識・技能」、A～Cは「思考力・判断力・表現力」に関する内容です。内容別では、すべての項目で全国平均を上回っていました。

特に「言葉の特徴や使い方に関する事項」、「我が国の言語文化に関する事項」、「読むこと」が高い正答率でした。

また、14問中12問の平均正答率が全国以上でした。全体的に無解答が少なく、問題に対して解答を導き出そうとする意欲の高さが読み取れます。

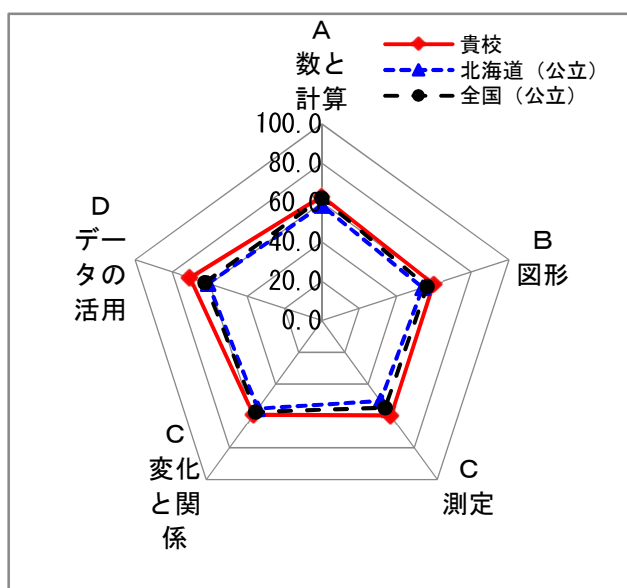
□全国平均と比較してよくできていた問題

・目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けることができるかどうかをみる問題

■全国平均と比較してやや課題が見られる問題

・書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えることができるかどうかをみる問題

(2) 算数の結果 平均正答率は全国平均を上回っています。



学習指導要領の領域別では「数と計算」「図形」「測定」「変化と関係」「データの活用」のすべてで全国平均を上回りました。特に「データの活用」では既習事項の学習がしっかり定着していると言える結果でした。

「変化と関係」については、全国平均を上回っているものの、本校の平均正答率は59.3%となっているため、既習事項の定着が課題です。

また、16問中11問の平均正答率が全国以上であり、14問中13問の無解答率が全国以下でした。

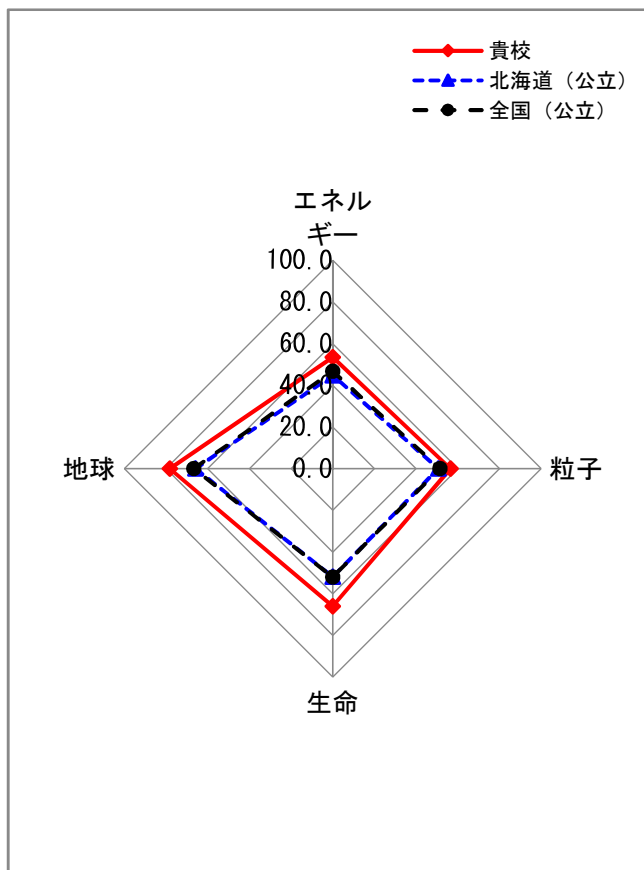
□全国平均と比較してよくできていた問題

・簡単な二次元の表から、条件に合った項目を選ぶことができるかどうかをみる問題

■全国平均と比較して課題が見られる問題

・基本図形に分割することができる図形の面積の求め方を、式や言葉を用いて記述できるかどうかをみる問題

(3) 理科の結果 平均正答率は全国平均を上回っています。



学習指導要領の区分・領域別では、「エネルギー」「粒子」「生命」「地球」のすべてで全国平均を上回りました。特にB区分の「生命」「地球」では、既習事項の学習がしっかり定着していると言える結果でした。

アルミニウム、鉄、銅について、電気を通すか、磁石に引き付けられるか、それぞれの性質に当てはまるものを選ぶ問題の正答率が低く、課題が残りました。

また、17問中16問の平均正答率が全国以上であり、無解答はありませんでした。

□全国平均と比較してよくできていた問題

・ヘチマの花のつくりや受粉についての知識が身に付いているかどうかをみる問題

■全国平均と比較してやや課題が見られる問題

・水が氷に変わる温度を根拠に、オホーツク海の氷の面積が減少した理由を予想し、表現することができるかどうかをみる問題

2. 児童質問紙の調査結果から

(1) 全国平均を上回っている項目で特徴的なもの

項 目		R7 結果(%)	全国比
5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか		80.5	+11.9
5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組み組んでいましたか		88.9	+8.6
学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか		91.7	+12.3
あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いのよさを生かして解決方法を決めていますか		91.7	+8.4
国語の授業の内容はよく分かりますか		91.7	+8.9
ICT 機器 の 活 用	・ICT 機器で文章を作成することができる	91.6	+9.8
	・インターネットを使って情報を収集することができる	97.2	+7.4
	・ICT 機器を使って情報を整理することができる	83.3	+14.0
	・ICT 機器を使って学校のプレゼンテーションを作成することができる	94.5	+17.8

(2) 全国平均を下回っている項目で特徴的なもの

項 目		R7 結果(%)	全国比
地域の大人に、授業や放課後などで勉強やスポーツ、体験活動に関わってもらったり、一緒に遊んでもらったりすることがあります		27.8	-11.6
地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか		72.2	-9.1
理科の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できていますか		55.6	-7.6
健康に過ごすために、授業で学習したことや保健室の先生などから教えられたことを、普段の生活に役立てていますか		66.7	-13.3

3. 今後に向けて

<学習において>

- 課題の解決に向けて自分で考え、話し合う活動を通して自分の考えを深め広げながら振り返り「わかる・楽しい」「考えを深める」授業をめざします。
- ノートを活用し、自分の考えを書く活動を取り入れ、いくつかの条件を設定した作文（文字数やキーワード、例文の引用など）に日常で取り組ませます。
- 電子黒板・タブレット等の ICT 機器を効果的に活用し、よりわかりやすい授業づくりに努めます。

<生活において>

- 学校における様々な教育活動において、児童一人一人のよさを見取り、認め励ますことで、児童の「自己肯定感」を高めていきます。
- 全教職員で「いじめは絶対に許さない」という姿勢で指導にあたり、相手の立場に立って物事を考えることのできる児童の育成に努めます。

<家庭・地域・学校運営委員会との連携において>

- 社会・地域を知る環境を整備し、関わろうとする意識を啓発していきます。